

外国人介護人材受入・育成・定着に向けて（2）

—介護福祉士養成施設における事例からの一考察—

堀 強

はじめに

筆者¹の博論課題は、「外国人介護人材受入・育成・定着のための実践的モデル構築—死生学の観点からの考察を含めて—」（仮題）である。

筆者の所属するT社会福祉法人（千葉県鴨川市。以下、「T法人」）は、K専門学校（千葉県鴨川市。以下、「K校」）と連携して、2017年6月から外国人介護人材の受入・育成に取り組んでいる。2020年4月にK校に千葉県南初の介護福祉学科（2年制・定員40人）が開設され、これまで56人の介護福祉士を目指す留学生を受け入れてきた。

本稿は、堀（2022a）²に次ぐものであり、堀（2022b）³（第30回日本介護福祉学会大会自由研究発表抄録）を見直したものである。

本稿を通じて、5 考察に述べるように、5.1 今次調査の限界、5.2当面の課題、5.3中長期的課題が明らかになった。

1 目的

2025年の介護人材の不足は32万人⁴（2040年には69万人⁵）と見込まれ、日本人だけでこの不足を賄うことは困難である。そのため、政府は多様な外国人介護人材受入施策を講じている。

2022年12月現在、①EPA介護福祉士候補者、②養成校ルート（在留資格「介護」）、③介護技能実習生、④特定技能1号（介護）の4つが整備されている。加えて、留学生の資格外活動や定住外国人等の雇用も増加している。

上記②は、2017年の出入国管理及び難民認定法（以下、「入管法」）の改正により、介護福祉士養成校を通じた介護福祉士国家試験合格者

を対象とする制度であり、③や④が「量的介護人材」確保を目指したものであるのに対し、「質的人材」確保を目指した制度といえる。これに伴い、養成校入学留学生数は急増傾向にあり、2019年度以降は2,000人前後と、養成校入学生の30%程度を占めている。

本稿の目的は、千葉県での②の実例（「T法人」「K校介護福祉学科」とD大学（ベトナム国ダナン市）間の取組）を取り上げ、外国人介護人材育成の手掛かりを得ることである。

2 諸元

本稿と関係性の深い諸元として、【外国人介護人材受入施策別滞在資格等】【養成校入学外国人留学生数推移】【養成校卒業生の進路】【介護福祉士国家試験の受験者及び合格者の状況】を取り上げる。

2. 1 外国人介護人材受入施策別滞在資格等

外国人介護人材受入施策別の滞在資格、在留期間、在留者数等は、【表1】のとおりである。

養成校を卒業した外国人留学生は、【介護福祉士国家試験】に合格することにより、長期就労でき、配偶者及び子の帯同が可能となる⁶。なお、2026年度養成校卒業生までは、経過措置により国家試験不合格でも滞在資格「介護」で卒業後5年間勤務でき、5年間勤務により介護福祉士資格が付与される。

EPA介護福祉士候補者は、3年間の実務経験を経て介護福祉士国家試験合格により滞在資格「介護」と同様に長期就労できる。介護技能実習生等も同様である。

また、特定技能1号（介護）には、介護福祉士国家試験に合格しなかったEPA介護福祉士候補者及び養成校卒業生、介護技能実習生から移行できる。

入管庁によれば、2022年6月末における介護分野の特定技能1号在留外国人10,411人の国籍別内訳は、ベトナム人4,294人（41.2%）、インドネシア人1,797人（17.3%）、フィリピン人1,308人（12.6%）、ミャンマー人1,145人、ネパール人896人、中国人449人、その他522人となっている。

【表1】施策別相違

	① EPA	② 養成校ルート	③ 介護技能実習	④ 特定技能1号
滞在資格	特定活動（EPA）	介護	技能実習	特定技能1号
在留期間（上限）	4年（資格取得前）	上限なし	5年	5年
在留者数	3,586人	3,064人	22,858件	10,411人
※（視察等）	注1	注2	注3	注4
配偶者・子の帯同	不可	可	不可	不可

注1. 2022年3月1日時点（国際厚生事業団調）、うち資格取得者675人

注2. 2021年6月末時点（入管庁）

注3. 2021年3月末時点（外国人技能実習機構）

注4. 2022年6月末時点（入管庁速報値）

出典：注関係機関資料から筆者作成

2. 2 養成校入学外国人留学生数推移

養成校の廃止、定員割が続く中、滞在資格「介護」の創設を背景として、養成校在籍の外国人留学生数は入学者の30%程度を占めている。

2018年度以降の外国人留学生数（入学数）の推移は、【表2】のとおりであり、ベトナム人が最多となっている。なお、2021年・2022年の留学生数はコロナ禍の影響を受け漸減している。

【表2】外国人留学生数推移

（単位：人・%（2022.4生の人数（100人以上）順））

	2018.4	2019.4	2020.4	2021.4	2022.4
ベトナム	542	1,047	1,015	750	629
ネパール	95	203	304	620	383
中国	167	212	285	254	255
ミャンマー	34	99	110	75	165
フィリピン	68	163	274	187	129
インドネシア	70	106	153	133	112
その他	166	207	254	173	207
計	1,142	2,037	2,395	2,189	1,880
ベトナム人割合	47.5%	51.4%	42.4%	34.3%	33.5%

出典：介護福祉士養成施設協会資料から筆者加工

2. 3 養成校卒業生の進路

【介護福祉士養成施設協会の調査⁷】によれば、養成校卒業生及び外国人留学生の進路は、

【表3】のとおりであり、外国人留学生の卒業生に占める割合は急増しており、2022年3月では卒業生の32.5%を占めている。

これによれば、調査に回答した留学生の国家試験合格率⁸は、2020年3月卒業生39.2%、2021年3月卒業生38.0%、2022年3月卒業生31.7%となっている。

【表3】養成校卒業生の進路（入職先）

	（単位：人、%）					
卒業時期	2020年3月		2021年3月		2022年3月	
養成校数	357校		333校		327校	
	総数	うち留学生	総数	うち留学生	総数	うち留学生
卒業生数（回答数）	5,504	836	5,561	1,471	5,774	1,875
国試受験数	5,270	757	5,273	1,353	5,407	1,696
合格者数	4,500	297	4,209	514	4,017	538
合格率	85.4%	39.2%	79.8%	38.0%	74.3%	31.7%
就職決定数	5,256	820	5,316	1,438	5,545	1,861
就職率	95.5%	98.1%	95.6%	97.8%	96.0%	99.3%
介護老人福祉施設①	2,643	363	2,565	634	2,682	878
介護老人保健施設②	752	180	799	310	830	323
医療機関	216	63	304	140	287	165
自立支援施設	427	26	378	30	378	35
有料老人ホーム等	337	97	381	184	516	308
居宅サービス関連事業③	505	81	527	135	504	140
児童福祉施設	87	0	140	1	11	6
社会福祉協議会等	112	2	82	0	93	1
保護施設	15	0	11	0	10	0
その他（福祉分野以外）	162	8	129	4	132	5
・就職者数（福祉分野）	5,094	812	5,187	1,434	5,413	1,856
・福祉分野就職率	92.6%	97.1%	93.3%	97.5%	93.7%	99.0%
※①+②+③	3,900	624	3,891	1,079	4,016	1,341
※割合	70.9%	74.6%	70.0%	73.4%	69.6%	71.5%
進学	110	6	106	10	92	6
進学率	2.0%	0.7%	1.9%	0.7%	1.6%	0.3%
未就職者	138	10	139	23	137	8
未就職率	2.5%	1.2%	2.5%	1.6%	2.4%	0.4%

出典：介護福祉士養成施設協会調査資料を筆者加工

こうした中、経過措置により、養成校卒業生は介護福祉士国家試験に合格しなくても暫定資格が付与されることを背景に留学生の就職率は97%を越えている。養成校卒業生は在学中の実習や介護施設における資格外活動（アルバイト）を通じて、即戦力として評価されていると言える。

なお、約70%が【介護老人福祉施設】【介護老人保健施設】【居宅サービス関連事業】に入職している。

一方、医療機関や有料老人ホーム入職者も増加している。

2. 4 介護福祉士国家試験受験者及び合格者の状況

厚生労働省によれば、第33回及び第34回介護福祉士国家試験の受験者、合格者、合格率、割合は、【表4】のとおりである。

これによれば、養成校卒業生の合格率（第33回・34回の加重平均）は、68.9%（留学生以外88.6%、留学生28.9%）となっている。なお、同省によれば、新卒者の合格率は75.0%（留学生以外93.4%、留学生33.0%）、既卒者の合格率は21.7%（留学生以外34.2%、留学生10.1%）と、いずれも留学生の合格率は低くなっており、留学生の合格率改善に向けたさらなる取組が必要といえる。

また、受験者総数に占める養成校卒業生は8%程度、福祉系高等学校卒業生と併せても10%程度に過ぎず、実務経験ルート（3年以上の実務経験及び一定時間以上実務研修受講者）による受験者が約90%となっている。しかしながら、外国人介護人材確保上、養成校で所定のカリキュラムを身につけ、国家試験に合格して、入職することの専門人材確保上の意義は大きいといえる。

【表4】 介護福祉士試験の受験者数等

区分	第33回（2020年度）				第34回（2021年度）			
	受験者数	合格者数	合格率	割合	受験者数	合格者数	合格率	割合
総数	84,483	59,975	71.0%	100%	83,082	60,099	72.3%	100%
介護福祉士養成施設	6,542	4,766	72.9%	7.9%	7,144	4,667	65.3%	7.8%
うち留学生	1,895	646	34.1%	1.1%	2,615	657	25.1%	1.1%
留学生以外	4,647	4,120	88.7%	6.9%	4,529	4,010	88.5%	6.7%
社会福祉施設介護職員等	52,162	37,155	71.2%	62.0%	51,733	37,795	73.1%	62.9%
・老人福祉施設#	45,834	32,053	69.9%	53.4%	45,423	32,600	71.8%	54.2%
・障害者福祉施設#	5,650	4,558	80.7%	7.6%	5,654	4,663	82.5%	7.8%
・保健施設等#	635	514	80.9%	0.9%	579	472	81.5%	0.8%
・その他	43	30	69.8%	0.1%	77	60	77.9%	0.1%
訪問介護員等	11,382	8,271	72.7%	13.8%	10,376	7,893	76.1%	13.1%
介護老人保健施設、介護医療院#	5,909	3,765	63.7%	6.3%	5,667	3,761	66.4%	6.3%
医療機関の看護補助者等	5,573	3,648	65.5%	6.1%	5,278	3,641	69.0%	6.1%
福祉系高等学校（専攻科を含む）	2,836	2,312	81.5%	3.9%	2,816	2,290	81.3%	3.8%
その他	79	58	73.4%	0.1%	68	52	76.5%	0.1%

出典：厚生労働省資料から筆者加工

3 調査方法

D大学からK校「介護福祉学科（2年制・定員40人）」にK校日本語学科を経由して進学したベトナム人留学生26人（卒業生6人・在学学生20人）との面談（2018年11月（WEB）、2019年3月（対面）、2020年5月（WEB）時の聴取内容などを対象者の同意を得て分析した^{9）}。

- ① 属性（性別・介護福祉士学科進学時年齢）、志望動機
- ② K校留学時以降の日本語能力試験動向
- ③ 留学生向けのK校及びT法人の支援が役立ったか
- ④ ダブルディグリー（D大学学位、K校専門士（以下、「DD」）の取得状況、入職状況、介護福祉士国家試験合格状況

4 調査結果

調査対象者の属性、日本語能力の推移は、【表5】のとおりとなった。

① 属性

- ・26人の性別は、女性24人（92.3%）、男性2人（7.7%）だった。
- ・介護福祉学科進学時の年齢は、2020年4月生は22歳8ヶ月、2021年4月生は21歳7ヶ月、2022年4月生は21歳9ヶ月と、2021年4月生以降1歳程度早くなった。

・主な志望動機は、日本での長期就労など15人、日本での生活・文化・旅行など11人、資格取得や日本語能力向上など9人、当該取組5人、経済的事情4人などであった。なお、定住希望者や、帰国後に老人ホームを開設することを夢とする者もいたことは注目に値する。

② K校留学時以降の日本語能力¹⁰の推移

K校留学時はN3相当1人3.9%、N4相当15人57.6%、N5相当10人38.5%であったが、現時点（2022年12月）ではN2合格者4人15.4%、N3合格者19人73.1%、N3以上合格者23人85.5%と大幅に向上している。しかしながら介護福祉学科に望ましい日本語能力はN2程度であり、改善を要する。

なお、介護福祉士養成施設協会調査¹¹によれば、2021年3月に養成校を卒業予定の留学生2,009人に対するWEB調査の有効回答者1,011人の2020年8月末時点に日本語能力は、N1：3.8%、N2：30.4%、N3：37.3%とN3以上が70.5%であり、K校と余り変わらないが、K校に比してN2以上が多い。

【表5】各人の性別・日本語能力推移

2020.4生		日本語能力		合格時期	
番号	性別	留学時	※	N3	N2
1	女	N4'	N3	2020.12	—
2	女	N4'	N3	2021.12	—
3	女	N4'	N3	2020.12	—
4	女	N4'	N2	2020.12	2021.12
5	女	N4'	N3	2020.12	—
6	女	N5'	N3	2020.12	—

介護福祉学科入学時平均年齢 22歳8カ月

2021.4生		日本語能力		合格時期	
番号	性別	留学時	※	N3	N2
1	女	N5'		—	—
2	女	N5'	N3	2022.12	—
3	女	N5'	N3	2022.7	—
4	女	N5'	N3	2021.12	—
5	女	N4'	N3	2021.12	—
6	女	N5'	N3	2022.7	—
7	女	N4'	N3	2021.12	—
8	女	N4'	N3	2021.7	—
9	男	N4'	N2	2021.7	2021.12
10	女	N4'	N3	2021.12	—
11	女	N4'	N2	2021.12	2022.7

介護福祉学科入学時平均年齢 21歳7カ月

2022.4生		日本語能力		合格時期	
番号	性別	留学時	※	N3	N2
1	男	N4'	N3	2022.7	—
2	女	N4'	N3	2022.7	—
3	女	N4'	N3	2022.7	—
4	女	N5'	N3	2022.12	—
5	女	N5'		—	—
6	女	N5'	N3	2022.12	—
7	女	N5'		—	—
8	女	N3'	N2		2022.7
9	女	N4'	N3	2022.7	—

介護福祉学科入学時平均年齢 21歳9カ月

③ K校及びT法人の支援

【K校】

・N3以上合格者に対する奨励金制度

26人中23人（延べ26人）が活用し、留学生の励みになり好評であった。

・その他の主な支援

- ・住民票、銀行口座開設
- ・留学時の住環境整備支援
- ・留学生用アパート（一括借上げ・維持等）
- ・病気の際の受診付添
- ・コロナワクチンのタイムリーな接種
- ・県・市主催イベント参加時の引率

外国人留学生の集いなど

- ・介護福祉士試験、日本語能力試験会場への引率
- ・ベトナム人職員（N1）の配置
- ・D大学単位取得支援（K校実習成績の活用）
- ・メンタルサポート（修学上、生活上の相談）

【T法人】

・経済的支援

- ・千葉県留学生受入プログラムの活用

全員、「千葉県留学生受入プログラム」（県内枠）生として採択され、T法人のプログラム生に係る経済的負担額の1/2が県から補助されている。

- ・県社会福祉協議会修学資金

介護福祉学科学費については、県社会福祉協議会修学資金貸付金制度（卒業後5年間、県内施設に勤務することにより返済免除）を活用している。その際、T法人施設長が連帯保証活用している。

※これらの公的支援制度は好評である一方、対象者への浸透（理解）は必ずしも十分とは言えないことが判った。例えば修学資金の返済免除に要する勤務期間については事前に説明の上、応諾した者を対象にしているが良く理解しないまま長すぎると受け止めている者も見受けられた。

なお、2020.4介護福祉学科進学生（2022.3卒業生）に係る経済的支援概要は、【表6】のとおりである。

- ・T法人からの無利子貸付金

入職後3年以内に均等返済を要する無利子貸付金の卒業時残高は1人平均約261千円であった。

- ・T法人における資格外活動収入（月額平均）約101千円であった。

・その他の主な支援

- ・実習指導者の配置
- ・K校実習先施設としてのサポート
- ・K校実習報告会への参加

- ・D大学単位取得支援

資格外活動の一部を活用した「インターンシップ課程修了証」の交付

- ・入職時住居の確保支援

- ・メンタルサポート

資格外活動、職務上・生活上の相談

【表6】2022.3卒業生に係る経済的支援概要

単位：円		
事項	金額	うちT法人・K校
T法人貸与奨学金	80,000	80,000
県補助金		
・日本語学科在学中	160,000	80,000
・介護福祉学科在学中	720,000	360,000
・計	880,000	440,000
K校負担金	240,000	240,000
社協修学資金		
・学費	1,200,000	0
・入学準備金	200,000	0
・国試対策費	80,000	0
・計	1,480,000	0
K市貸与奨学金	240,000	0
コロナ対策費（国費）	150,000	
【総計】	3,070,000	760,000

注1. K市貸与奨学金は介護福祉士試験合格後1年勤務により返済免除となる。

（介護福祉士資格は名称独占であり、看護師資格のような業務独占とはことなること、国家試験不合格でも経過措置により滞在資格「介護」が付与されることから、今後、返済猶予を要望するなど返済要件の緩和を要望（政策提言）していく予定。）

注2. 県の参加施設に対する補助金は、社協修学資金の返済免除期間、参加施設に勤務することを要件としている。

④ DDの取得状況、入職状況、介護福祉士国家試験合格状況

- ・2020年4月進学生（2022年3月卒業生）6人は全員DDを取得し、2022年6月にD大学理事長がK校に来校、K校でD大学学位記授与式が行われた。
- （海外の大学と本邦の専門学校間のDDの例は見当たらない。）
- ・6人全員がT法人に入職し活躍している。
- ・介護福祉士試験国家資格合格者は、6人中1人16.7%に留まり、養成校新卒者の合格率30.0%を下回り、改善を要する。

【参考】

- ・【千葉県留学生受入プログラム】の概要
千葉県留学生受入プログラムの概要は、【図1】のとおりであり、「ハノイ所在日本語学校経由」及び千葉県内の日本語教育機関及び介護福祉士養成校在学者を対象とする県内枠からなる。

（県内枠は、現地校に係る部分以外、現地校経由と同様。）

千葉県留学生受入プログラムに参加している介護福祉士養成校はK校等6校、日本語教育機関はK校等20校となっている。

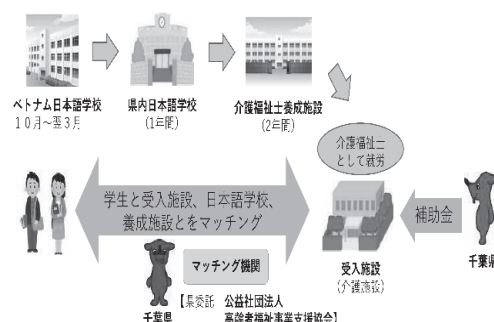
なお、K校以外の【千葉県留学生受入プログラム】生の卒業時期は、コロナ禍の影響で養成校入学時期が遅れたことから2024年3月以降となる見込み。また、これまでのところ【県内枠】の採択例は、T法人及びK校に留まっている。

ベトナム現地日本語学校に在籍する留学生とのマッチング（現地マッチング）

在留資格「介護」を取得し、介護福祉士として県内介護施設で就労することを目指す外国人留学生と、受け入れる介護施設を支援し、もって県内の介護職員の確保を図ることを目的として実施する。

① マッチング支援

県とマッチング機関が、ベトナムの日本語学校から施設の就労までをつないでいく。



② 学費及び居住費の支援

ベトナム日本語学校及び県内日本語学校、介護福祉士養成施設に在籍する留学生の学費と居住費に対して、県内の介護施設等が助成を行い、県はその1/2を補助する。

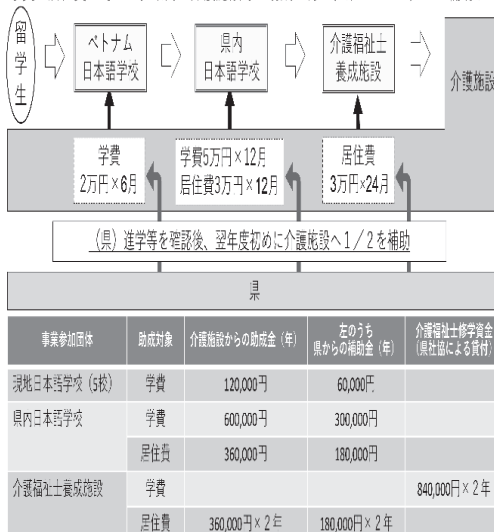


図1 千葉県留学生受入往路プログラム概要

出典：千葉県健康福祉部健康福祉指導課

5 考察

2021年4月進学生から介護福祉学科進学時の平均年齢が約1年早まっている。これは2020年4月生がD大学4年次修了後に卒業実習を残したまま留学前日本語学習を経て、K校に留学したのに対し、2021年4月進学生からD大学の要望により3年次（2.5年修了時）にK校日本語学

科に留学することとしたことによるものである。これにより、5.5年（D大学2.5年＋日本語学科1年＋介護福祉学科2年）でDDの取得が可能になり、卒業時期（入職時期）、帰国時期が1年早まることとなった。

一方、留学生にとっては、専門学校における修学、資格外活動に加えて、D大学学位取得要件を充たす必要があり、留学生の負担増は否めない。

5. 1 今次調査の限界

今回の調査は、トライアル的なもので調査対象人数も少なく、調査対象者に対する半構造化インタビューなども行っていない。そのため、今後、調査対象者を他の【千葉県留学生受入プログラム】参加養成校在学留学生や入職済の卒業生、更には養成校教員、資格外活動先職員・利用者等に広げ、アンケート調査及び半構造化インタビューを行っていくこととしている。

そこで、以下に【当面の課題】及び【中期的課題】を取り上げる。

5. 2 当面の課題

① 日本語能力向上

如何にして、日本語能力を養成学科に必要とされるN2相当に引き上げるか。このため、㊦D大学からの留学予定者の来日前の日本語学習サポート（オンライン補講の実施等）、㊦日本語学科在学時の日本語能力試験受験対策、㊦介護福祉学科との連携による介護福祉学科在学時における日本語能拡充方策を検討・具体化・評価していく。

併せて、日本国内日本語教育機関に在学する日本語能力N3以上の者や、漢字圏等から日本語能力N2以上の者の確保（介護福祉学科への直接進学）方策を検討していく。

② 国家試験合格率向上

第34回介護福祉士国家試験（2022年1月）以

降のK校外国人留学生の自己採点や過去問を通じて、苦手問題を把握するなどにより、国家試験対策の強化方策を検討する。併せて、不合格者に対する再受験対策（小テストの実施等）を検討していく。

これらにより、まずは養成校卒業生（留学生）の平均合格率を目指し、次いでEPA介護福祉士候補者の平均合格率を目指す。

なお、経過措置により暫定的に介護福祉士として勤務中の卒業生は5年勤続により正規の資格が付与されることから再受験をどう促していくかも課題と言える。

③ 外国人介護人材受入施設の裾野拡大

・【千葉県留学生受入プログラム】県内特別枠

K校は千葉県南圏唯一の養成校であるが、鴨川市に所在し、同市は安房郡市（館山市・鴨川市・南房総市・鋸南町）の端に位置している。このため、安房郡市所在介護施設の多くはK校から遠く、介護人材不足に直面しながらも資格外活動（アルバイト）に相当の送迎費用や人的負担を伴う。

T法人は筆者を中心に、千葉県及び安房郡市に対し、【安房郡市所在市町が資格外活動に要する費用の一部（月額10千円）及びマッチング費用（1人20千円（1回限り））】の支援を要件として、【千葉県留学生受入プログラム】県内枠に安房郡市特別枠設けることを要望（政策提言）してきた。その結果、令和4年度に南房総市及び鴨川市で各々5枠が補正措置され、令和5年度以降も継続措置されることとなったのは前進といえる。

なお、県内特別枠に係る受入施設のマッチングは、【（仮称）社会福祉連携推進法人房総ウェルビーイング・アライアンス】創設の間までは【地域医療連携推進法人房総メディカルアライアンス】に委ねられ、特別枠採択者は自動的に【千葉県留学生受入プログラム】県内枠が適用されることとなった。

この結果、令和4年度特別枠採択者（2023年1月末時点）は、南房総市1人、鴨川市2人となった。

・【K校（介護福祉学科・日本語学科）のT法人立専門学校への移管】

深刻な介護人材不足に直面する中、以下の理由から、K校を2024年4月に安房郡市の中間点に位置する南房総市にT法人立の養成校（（仮称）AM校（介護福祉学科・日本語学科））に移管することとしている。

①このところ、社会福祉法人自ら【介護福祉士養成施設（専門学校）】を設けるところがある。

②K校は安房郡市の中間点から離れている。

③介護福祉士の主な就職先は社会福祉法人である。

なお、AM校は、社会的資源の有効利用及びイニシャルコスト縮減等の観点から南房総市の【旧嶺南中学校和田校舎】施設の利活用事業企画提案プレゼンを経て、当該施設の利活用事業者に選定された。

AM校（介護福祉学科：2年制・定員40人、日本語学科：1年制・定員40人、1.5年制・定員20人）設置計画書の承認申請中であり、千葉県私学審議会において審議中である。

AM校の実員は100人程度になると見込まれ、これは【旧嶺南中学校和田校】閉校時の生徒数に相当する。AM校の開校により往時に近い昼間人口の増が見込め、その一部は南房総市に住民票を置き、同市内介護施設等でアルバイトをし、ひいては卒業後一定期間南房総市受入施設に勤務することが見込まれる。これらは、南房総市の地域活性化・地域貢献・国際交流等を進展させるものと期待され、今後、KPI（重要業績評価指標）を設定し、評価していくこととしたい。

堀（2022a）よれば、安房郡市（特に南房総市）の高齢化は著しいこともあり¹²、AM校の南房総市での開校（K校移管）の意義は大きく、移管後、如何に安房郡市所在介護施設ひい

ては安房郡市近傍市町所在施設の需要に的確に
応えて行けるかも今後の課題と言える。

・【T法人留学生等の派遣】

安房郡市内の小規模介護施設には、介護人材不足に直面しながらも、【千葉県留学生受入プログラム】県内特別枠による外国人留学生の送迎や指導要員の確保に躊躇するところもある。

一方、T法人で受入れ可能な外国人介護人材（留学生を含む）にも限りがあるため、T法人では2022年12月に人材の紹介・派遣業の許可を取得した。

これにより、介護施設での資格外活動経験のある留学生の派遣、さらにはT法人独自で養成した介護人材（K校卒業生）の派遣による安房郡市等の介護人材ニーズに対応（補完）可能となった。

④ K校在学学生（外国人留学生・日本人学生）・卒業生、T法人受入施設職員・利用者等に係る調査

K校在学学生（外国人留学生・日本人学生）・卒業生、T法人受入施設職員・利用者等を対象とするアンケート調査・半構造インタビューを行い、質的研究を試みる。

5. 3 中期的課題

① 【千葉県留学生受入プログラム】参加養成校との連携

【5. 1】で掲げた「日本語能力向上」や「国家試験合格率向上」「養成校在学学生（外国人留学生・日本人学生）・卒業生、受入施設職員・利用者等に係る調査」は、【千葉県留学生受入プログラム】参加養成校共通の課題と言える。

そこで、質的研究に当っては必要に応じ【千葉県留学生受入プログラム】参加養成校であるM校及びN校と連携・協力していくことで両校校長の同意をえている。

② 病棟勤務外国人介護人材の養成

【千葉県留学生受入プログラム】では病棟

（介護医療院¹³を除く）勤務の外国人介護人材は補助対象外としている。これは、財源が【地域医療介護総合確保基金（介護）】であるためと思料される。

一方、多くの医療機関病棟では看護師補助者として介護福祉士等を採用しており、外国人介護福祉士の需要があると想定される。介護福祉士養成施設協会調査（表3）によれば、医療機関¹⁴に入職する外国人留學生が増加している。そこで、今後、千葉県に対し【地域医療介護総合確保基金（医療）】を財源に【医療機関病棟（介護医院を除く）】に勤務を目指す外国人介護福祉士を対象とする【千葉県留學生受入プログラム】に準じた制度の創設を要望（政策提言）していきたい。

③ 定員充足率の改善

まず、AM校介護福祉学科定員充足を目指し、外国人留學生のみならず日本人学生の確保に努め、更には定員（実員）増を目指し、如何にして達成できるかその方策を検討していく。定員（実員）増の際は、週4日制カリキュラムの併用を検討し、資格外活動先の多様化（遠隔地化）を図り、安房郡市近傍市町等の需要に応じていく。

④ 他の自治体等の好事例の把握

外国人介護人材の受入・育成は、全都道府県共通の政策課題となっており、多くの自治体（都道府県・市町）が様々な施策を講じている。また外国人留學生の国家試験合格率の高い養成校も多い。

そこで好事例の収集整理を行い筆者の研究に活かしていく。

【参考】

1. K校（介護福祉学科）実員推移

K校介護福祉学科の実員推移は、【表7】の通りである。2023.4生は、2022年12月末見込みであり、留學生中27人はK校日本語学科から

の進学予定者。（K校2023.4生は、2024年4月にAM校2年に編入予定。K校2023.4日本語学科留學生（人数未定）は、2024年4月にAM校介護福祉学科に進学予定。）

【表7】K校介護福祉学科実員推移（単位：人）

入学時期	留學生	日本人	計	卒業時期
2020.4生	6	1	7	2022.3
2021.4生	12	3	15	2023.3
2022.4生	11	7	18	2024.3予定
2023.4生	29	5	34	2025.3〃
計	58	16	74	

注1. 留學生には、県プログラム（現地校経由）生12人（T法人5、T法人以外7）を含む。

注2. 留學生の国籍は、ベトナム54人、中国人3人、ドイツ人1人。

注3. 2023.4生は見込み。留學生29人中、27人はK校日本語学科からの進学。

出典：各法人HPから筆者作成

2. 社会福祉法人立介護福祉士養成校等

外国人留學生を受け入れている社会福祉法人立の介護福祉士養成校の例は、【表8】の通りである。

【表8】社会福祉法人立介護福祉専門学校例

法人名	学校名	※1	※2
福寿園	田原グローバル福祉専門学校	○	○
大和清寿会	奈良介護福祉中央学院	○	
	Hayama International L.S.		○
青山里会	四日市福祉専門学校	○	
北養会	いばらぎ中央福祉専門学校	○	
華頂会	華頂社会福祉専門学校	○	
厚仁会	さぬき福祉専門学校	○	
香南会	香南学園	○	
長岡福祉協会	長岡崇徳福祉専門学校	○	

※1 ○は、養成学科（介護福祉学科等）有

※2 ○は、日本語教育機関の有

出典：各法人HP

3. 介護医療院数の推移

2017年の介護保険法の改正により、新たな介護保険施設として【介護医療院】が創設された。厚生労働省によれば、介護医療院は、「医療提供施設の側面も持ちながら生活施設としての役割を果たすために、ハード面・ソフト面でのプライバシーの尊重などが求められるとしている。

介護医療院は、【Ⅰ型（介護療養病床相当）】【Ⅱ型（老人保健施設相当以上）】【Ⅰ型とⅡ型の混合】施設がある。介護保険上は介護保険施設、医療法上は医療提供施設として位置付けられたいわば、医療と介護が融合した施設といえ、利用者の「看取り・ターミナル」を支えることも重要な役割とされている。その目的の相違は【表9】のとおりである。

介護医療院の施設数及び療養床数の推移は、【表10】及び【表11】のとおりであり、今後、介護医療院で活躍する外国人介護福祉士が増加していくと想定される¹⁵。

【介護医療院】の転換元施設は、介護療養病床（病院）62.7%、介護療養病床（診療所）7.8%、介護療養型老人保健施設13.5%等で、【介護療養型医療施設】は、2024年3月末まで廃止されることになっている。

【表9】 介護医療院と特養等との目的の相違

種別	目的
介護医療院	要介護高齢者の長期療養・生活のための施設
特養	要介護高齢者のための生活施設
老健	要介護高齢者が在宅復帰・在宅支援を目指す施設
介護療養型医療施設	医療の必要な高齢者のための長期療養施設

出典：厚生労働省（介護医療院公式サイト）

【表10】 介護医療院の施設数推移

	2021.12末	2022.6末	2022.9末
Ⅰ型	458	492	498
Ⅱ型	200	230	236
混合	4	75	5
計	662	727	739

出典：厚生労働省（介護医療院公式サイト）

【表11】 介護医療院の病床数推移

	2021.12末	2022.6末	2022.9末
Ⅰ型	30,277	31,837	32,363
Ⅱ型	10,106	11,486	11,637
計	40,383	43,32	44,000

出典：厚生労働省（介護医療院公式サイト）

【参考文献】

- 堀強（2022a）『外国人介護人材受入・育成・定着の実践モデル構築に向けて（1）—わが国の外国人介護人材を巡る問題点を探る—』宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター年報第14号、pp149-165
- 堀強（2022a）『介護福祉養成施設における外国人介護人材受入・育成事例からの一考察—在越大学との連携による外国人介護人材育成の試みを手掛かりに—』第30回日本介護福祉学会大会抄録集（学会事前査読有）、p40
- 厚生労働省Webサイト：第8期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数について（PDF）2022年12月確認
- 介護福祉士養成施設協会Webサイト：外国人留学生（2018.4～2022.4入学生・PDF）2022年12月確認
- 介護福祉士養成施設協会Webサイト：介護福祉士養成校卒業生の進路調査報告（令和2年3月卒業生、令和3年3月卒業生、令和4年3月卒業生・PDF）2022年12月確認
- 厚生労働省Webサイト：介護福祉士国家試験結果（PDF）2023年1月確認

- 7) 千葉県Webサイト：千葉県留学生け受入れプログラム（PDF）2022年12月確認
- 8) 厚生労働省Webサイト：介護医療院について（PDF）2023年1月確認
- 9) 介護福祉士養成施設協会（2021）『外国人介護人材の質の向上等に資する学習支援等調査研究事業報告書』（PDF）2023年1月確認

- 1 宇都宮大学国際部附属多文化公共圏センター研究員（2020.12～）、宇都宮大学地域創生科学研究科先端融合科学専攻博士後期課程（グローバル地域デザインプログラム）2021.4 社会人入学、社会福祉法人太陽会理事長補佐（2021.4～）
- 2 堀強（2022a）『外国人介護人材受入・育成・定着の実践モデル構築に向けて（1）一わが国の外国人介護人材を巡る問題点を探る』宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター年報第14号、pp149-165
- 3 堀強（2022b）『介護福祉養成施設における外国人介護人材受入・育成実例からの一考察—在越大学との連携による外国人介護人材育成の試みを手掛かりに—』第30回日本介護福祉学会大会抄録集（学会事前査読有）、p40。
- 4 第8期介護保険事業計画（令和3年度～令和5年度）の介護サービス見込み量等に基づき、都道府県が推計した介護人材の需要をみると、令和5（2023）年度末までに約22万人（合計で233万人）、令和7（2025）年度末までに約32万人（合計で243万人）、すなわち、令和元年度以降、年間5.3万人程度の介護人材の伸びが必要となっている。
- 5 第8期介護保険事業計画では、「段階ジュニア世代」が65～70歳となり、高齢者人口が35%以上になると見込まれる令和22（2040）年度末までに約69万人（合計で280万人）不足すると見込まれている。
- 6 厚生労働省によれば、2022年度末に期限を迎える経過措置登録者（2017年度養成校卒業生）は、812人（留学生を含む）であり、このうち2018～2021年度までの試験合

格者は261人32.1%に留まっている。

これは5年動続により介護福祉士資格が付与されることや資格を取っても処遇が大きく改善されないことが要因と推察される。

- 7 介護福祉士施設養成協会は、経過措置がなされた平成29年度の卒業生以降、毎年度、養成校卒業生の進路調査を行っている。
- 8 介護福祉士養成施設協会の調査に回答した卒業に係るものであり、合格率は【表4】介護福祉士国家試験受験者及び合格者の状況より高くなっている。
- 9 本調査は、日本介護福祉学会の研究倫理指針に基づき、倫理的配慮を遵守して行った。
- 10 日本語能力試験（JLPT）は、N5～N1からなり、レベルはN5が一番低くN1が一番高い。N5は、「基本的な日本語がある程度理解できる」水準。N4は、「基本的な日本語が理解できる」水準。N3は、「日常的な場面で使われる日本語がある程度理解できる」水準。N2は、「日常的な場面で使われる日本語が理解できる」水準。N1は、「幅広い場面で使われる日本語が理解できる」水準。
- 11 介護福祉士養成施設協会（2021）『外国人介護人材の質の向上に等資する学習支援等調査研究事業報告書』p24
- 12 前掲³p155【表6】安房郡市の高齢化人口動向参照
- 13 地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法の改正（2017年）により、創設された介護保険施設。介護医療院は、看取りを含む住まいの機能を重視した医療提供施設として位置付けられており、多死社会を迎えたわが国における看取りの一翼を担うことが期待されている。
- 14 介護福祉士養成施設協会によればこの医療機関には介護医療院を含む。
- 15 【表3】養成校卒業生の進路（介護福祉士養成施設調査）によれば、医療機関に入職した卒業生は、2020年3月（216人うち留学生63人）、2021年3月（304人うち留学生140人）、2022年3月（287人うち留学生165人）と、留学生数は純増している。協会によれば、介護医療院への進路者に区分していないものの医療機関に含めて回答されている可能性が高いとのこと。